



**させぼ夢大学**

発行 ● 公益社団法人 させぼ夢大学  
編集委員会

事務局 / 〒857-0863  
長崎県佐世保市三浦町4-30・松蔵ビル3F  
TEL.0956-25-9555 FAX.0956-25-9545  
https://www.yumedai.com/  
E-mail:sasebo\_yumedai@yahoo.co.jp

開催ご案内 25-9556

# 夢のつづき

## させぼ夢大学会報

No.332 (2023・12)

令和5年度  
第9回

2023年 12月14日(木)

アルカスSASEBO 大ホール

開場 17:30

夢のひろば 18:00

講演 18:30 (終了20:00)

第9回講演会の講師は、城郭考古学者の千田嘉博さんです。テレビ・ラジオ・新聞等で、お城と言えば千田さんの登場を期待する方も多いのではないのでしょうか。

千田さんは、1963年愛知県豊田市生まれ。奈良大学を卒業後、名古屋市の考古資料館の学芸員、国立歴史民俗博物館の考古学研究部助手などを経て、ドイツやイギリスに留学し、考古学の研究を深めました。帰国後は、奈良大学教授や学長を歴任し、現在は名古屋市立大学教授、奈良大学特別教授を務めておられます。

主な研究活動として、日本各地の城や世界の城との発達の共通性や法則性を世界的な視野で検証し、城から歴史を考える「比較城郭考古学」を



撮影：畠中和久氏

提唱されています。

さらに、城跡の発掘成果や絵図・地図資料、文学史料などを分野横断的に研究し、歴史を解明。同時に、日本各地の城の調査と整備・活用の委員を務め、城の保存・活用を市民とともに考え、実践されています。

「一生に一度は行きたい日本の名城100選」「城郭考古学の冒険」「歴史を読み解く城歩き」「石垣の名城完全ガイド」など、著書も多数。すぐにも本を抱えて、各地のお城に行ってみたくなってきました。

今回は「徳川家康と天下人の城」というテーマで、ご講演していただきます。佳境に入った日曜日の大河ドラマの見どころが増えそうで、今から楽しみです。

せん だ よしひろ  
講 師 ● 城郭考古学者 千田 嘉博氏

テーマ ● 徳川家康と天下人の城



### 次回のご案内

■と き / 1月11日(木) 18:30~20:00

■講 師 / 柔道家 のむら ただひろ 野村 忠宏氏

■テーマ / 折れない心

● 奈良県出身。祖父は柔道場「豊徳館 野村柔道場」、父は天理高校柔道部元監督という柔道一家に育つ。アトランタ、シドニー、アテネオリンピックで柔道史上初、また全競技を通じてアジア人初となるオリンピック三連覇を達成する。その後、度重なる怪我と闘いながら現役を続行したが、2015年の全日本実業柔道個人選手権大会を最後に40歳で引退。現在は、名城大学薬学部特任教授で、国内外で柔道の普及活動を展開している。

12月の講演会は第2木曜日です。

### 千田 嘉博 氏のプロフィール

● 愛知県豊田市出身。日本の城郭考古学者。名古屋市立大学教授、奈良大学特別教授。中世・近世城郭の考古学的研究を行い、日本各地の城の発掘調査・整備の委員を務める。また、世界の城と日本の城の比較研究を行っている。「織豊系城郭」を提唱し、城郭を資料として歴史を研究する方法の確立に寄与した。2015年に濱田青陵賞を受賞。16年のNHK大河ドラマ「真田丸」の真田丸城郭考証者。18年奈良新聞文化賞を受賞。





由紀さおり氏・安田祥子氏

幾度目かの今日、初めての今日  
佐世保市横尾町 鷲崎 涼子

由紀さおりさんは、2010年10月に続き2度目の出演。その時も鼻濁音についてのお話をされていました。一貫して、言葉を大切にされているのを感じました。

思いがけず、リクエストコーナーがあり、私の頭はフル回転。あれもこれもと浮かび、手を挙げましたが、当てられることはなく…。終盤で私の思っていた一曲を他の方がリクエストしてくださり、「よし」としました(笑)

次にお逢いした時に「星めぐりの歌」と「ルーム・ライト」は取っておきますね。由紀さんが、お姉様のことを「お姉ちゃん」と言われるのが、何ともいい響きで、微笑ましく感じました。

また、翌日放送の「徹子の部屋」も、もちろん拝見しました。三味線も都々逸も素敵でした。「初めての今日を」というタイトルを聞いて「そうか、毎日が特別な初めての今日なんだ」と改めて気付かされました。毎日、忙殺されていますが、大切に生きていかないとはいけませんね。ピアノの太杉光恵さんも、知らない曲まで伴奏され、さすがプロと感心しました。安田さん、これからもヒールを履いてステージに立ち続けてください。皆様、楽しい時間をありがとうございました。

## 12/14(木)、1/11(木)の講演会当日、会場にて受付!

- 12月か1月のどちらかの講演会で、来年度の受講申込みをさせていただきます。定員は2000人です。
- 申込書は、**④夫婦・家族用**と、**⑥個人またはグループ用**があります。いずれか一方で申込みください。申込みは**お一人1枚とし、両方で申込みの場合は、一方を無効とします。**
- 夫婦・家族(3人以内・同居)、及びグループで申込みれる方は、どなたかが現学生であれば受け付けます。
- 学生番号は必ずご記入ください。**

ご注意ください

- 申込書は、事前に記入し、ご持参ください。  
**早割!!** 今後2回のどちらかの講演会当日に申込まれ、コンピュータによる「一括抽選」で当選された方は、  
年間受講料：個人またはグループ 1人 20,000円→**19,000円**(税込)  
夫婦・家族(同居の方) 1人 19,000円→**18,000円**(税込)  
※グループ申込みは、郵便物をそれぞれのご住所へお送りします。  
※一般受付(新聞等のはがきによる申込み)期間  
1/12金~1/31水必着 一般の早割は、1/24水必着まで

### A 夫婦・家族学生(同居の方)用 申込書

郵便番号		TEL ( )	
住所			
学生番号	005	性別	年齢
フリガナ			
① 氏名		男・女	歳
学生番号	005	性別	年齢
フリガナ			
② 氏名		男・女	歳
学生番号	005	性別	年齢
フリガナ			
③ 氏名		男・女	歳

※個人情報厳重にお取り扱いいたします。

### B 個人 または グループ学生(2~3名)用

※個人でお申し込みの方は、①欄にご記入ください。  
※グループでお申し込みの方は、①~③欄にご記入ください。

個人学生記入欄	学生番号	005	性別	年齢
	フリガナ			
	① 氏名		男・女	歳
住所		〒 - TEL ( ) -		
グループ学生記入欄(①~③にご記入ください)	学生番号	005	性別	年齢
	フリガナ			
	② 氏名		男・女	歳
住所		〒 - TEL ( ) -		
③	学生番号	005	性別	年齢
	フリガナ			
	③ 氏名		男・女	歳
住所		〒 - TEL ( ) -		

※個人情報は厳重にお取り扱いいたします。

学生専用 令和6年度・第33期受講申込書

# 夢のひろば

- ◆日時／12月14日(木) 午後6時～6時20分
- ◆演目／佐世保の子どもによる“地産地笑”の創作落語
  - ①「落語の稽古」
  - ②「眠れない夜」
- ◆出演／「佐世保かっちえて落語会」の子どもたち
  - ① 橘高 佑弥 (祇園中2年)
  - ② 古川 万葉 (広田中2年)

### ◆出演者紹介

佐世保かっちえて落語会は、「ふるさとの子どもも大人も一緒に笑って元気になるようなことをやろう」という主旨で、放送作家である海老原靖芳氏が企画し、主に高校時代の同級生たちの協力により続けられている落語会です。この落語会には、他の落語会と違った大きな特長があります。

それは、佐世保の子どもたちが、佐世保オリジナルの落語を披露するということです。それも正式な高座で、トップクラスの落語家たちの前座として。こうした落語会は、全国でも珍しいと思いますので、させば夢大学の皆さんも、佐世保の試みに挑戦している子どもたちの応援をよろしく願っています。

# 次世代に歌い継ぎたい！ 日本の美しい言葉の歌



■本日の「童謡コンサート」は、心より満喫です。久々に昔懐かしい歌を口ずさみ、幼い頃を思い出しました。言葉を大事に紡いでいるお二人が、すごく優しく思いやりに溢れていると感じました。

孫たちに昔の歌を教えると言われることがありますが、一緒に歌うと楽しく笑顔になります。

佐世保市赤崎町●木村 典子

■「童謡コンサート」、本当に楽しみにしていました。姉妹二人とても仲が良く、体調不良のお姉さんを妹の由紀さんが、トークや歌でサポートされていたのが印象的でした。

由紀さんが歌われた、Kiroroの「未来」、山口百恵さんの「秋桜」など、大変感動しました。

佐世保市小舟町●安田 一恵

■由紀さんの美声による懐かしい童謡の数々に、しばし童心に帰り聴き入った。軽妙なトークと、リクエストに気軽に応える気さくさで会場は盛り上がった。

「新しい今日を一日一日精一杯生きる」に共感！改めて童謡の良さを実感したひと時だった。

佐世保市南風崎町●横山 春美

■お二人のとても素敵なコンサートでした。童謡は忘れないですね。手を挙げた方々の好みの歌をトークに入れ、次々に歌われ、本当に楽しい夢大学でした。

できれば、紅白歌合戦で童謡を歌ってほしいと思っています。

佐世保市木風町●西 照美

■とても楽しみにしていた、由紀さおりさん・安田祥子さんの登場。きれいな声、懐かしい童謡を聴かせていただき、友の顔、母の顔が浮かんできました。次の世代にも、この美しい日本語の童謡が歌い継がれてほしいと思いました。

佐世保市大宮町●田中 美禰

■由紀さおりさん・安田祥子さんの童謡コンサートは、同世代の私にとって、やはり嬉しい。歳を重ねていく私ではあるが、させば夢大学が明日への希望を与えてくださることに、いつも感謝している。

佐世保市早苗町●牧 多津江

■由紀さおりさん・安田祥子姉妹の童謡コンサート、とてもすばらしかったです。仲の良さがにじみ出た二人の歌や会話から、こちらも幸せをいただきました。またの機会を楽しみに待っています。

佐世保市峰坂町●中川内 康子

令和6年度・第33期講演会予定はウラ面をご覧ください。

## 講演を聴かれた感想をお待ちしています！

**「思わず「ブラボー」」**  
佐世保市瀬戸越2丁目 鷲見 邦子

由紀さん・安田さんの「童謡コンサート」を楽しみにしていました。お二人のきれいな歌声に、日頃の雑事も忘れ、耳を傾けさせていただきました。日本の四季を歌った童謡の数々、それぞれ一曲一曲がまるで叙情詩を思わせる世界に浸り、感激のあまり涙することも何度か。

日本には、こんなに素敵な童謡があり、今さらながらみんなの心に生きているすばらしさに、感無量の思いでした。

**「美しい日本語を子どもたちへ」**  
佐世保市八ツ丁 松井 昭夫

時代を30年ほど遡って、一冊の写真集が出版されました。日本の自然の美しさに惹かれ定住した、イギリス人写真家、ジョニー・ハイマス氏の「たんぼ」(N.T.T出版)です。いつも何気なく見ていたたんぼが、「こんな豊かな表情をも

何より表現の美しい日本語、そして言葉の響き…、そのことを大切に歌いつないでられるお二人に、心から賛辞を送りたいと思いました。

また、伝統を重んじながら、常に新しいことにチャレンジし、来年はパリ公演もと意欲を燃やされているお姿に、思わず「ブラボー」と叫んでしまいました。そして「ジャンルは？」と問われ、「ジャンルは由紀さおりです」とのお話にも、「おしゃれ〜」と拍手を送る次第でした。

新曲「初めての今日を」は、シャンソン風の雰囲気を感じられ、ぜひ覚えてみたいくなりました。「幾千の出会い、幾千の別れ、幾千の流した涙…」、この歌詞を丁寧な受け止めながら、明日への希望を添えつつ上手く歌えたらと…軽い妄想に縛られている私です。

最後に、由紀さん・安田さんの益々のご活躍を心から願っています。

「日本の美しい言葉の歌を大切に、次世代に歌い継ぎたい」と活動を続けるお二人は、デビュー55周年にパリでコンサートを行うとのこと。芸の道に終わりは無い。85歳まで7cmのヒールを履いてステージに立ちたいとも語っておられました。

帰路、冷たい雨に打たれましたが、自然に「あめあめふれふれ母さんが…」と口ずさむ自分にびっくり。心豊かな一日になりました。

※締め切りは12月19日(火) (必着)  
※宛先は、させば夢大学事務局まで

# 九十九島

## ふもやま話

9

### 九十九島の地形

柴田 昭隆

佐世保市を含む北松浦郡  
 一帯は数十万年前の火山活  
 動によって溶岩台地で覆わ  
 れていた。その後、相浦川、  
 佐世保川、日宇川などが長  
 い年月の間に山頂付近の溶  
 岩を残して台地の溶岩を洗  
 い流した。さらに、その下層  
 の堆積岩を浸食して多くの  
 谷が出来た。

佐世保市街の地形は、烏  
 帽子岳、将冠岳、弓張岳など  
 の山頂付近の溶岩台地の急  
 斜面を除けば、緩やかな斜  
 面にいくつもの尾根と谷が  
 入り組んで連なっている。

複雑に浸食された地形は  
 現在の地名となった。尾根を  
 表す地名が長尾、戸尾、横  
 尾、須田尾等であり、谷を  
 表す地名が猿窪、東・西大久  
 保、谷郷、名切谷、久保谷等  
 である。

松浦鉄道に乗ると、いく  
 つものトンネルを通過する

が、これは尾根と谷が連な  
 る地形を最短距離で通過で  
 きるように尾根にトンネル  
 を掘ったからである。明治  
 時代の初めまで、平地はほ  
 とんどなかった。現在の国  
 道筋より海側の土地は、そ  
 の多くが干拓や埋立てによ  
 り作り出された土地である。

この陸地の地形がそつこ  
 りコピーされたように海の中  
 に浮かんでいるのが九十九島  
 の風景である。

日本列島の原型は、約一万  
 年前にできた。長い氷河期  
 が終り、地球を覆っていた  
 氷が溶けて海水面が上昇し  
 たことにより、朝鮮半島と  
 陸続きであった地形が切り  
 離されて日本列島を形づく  
 った。

その時、陸地に海水が入  
 り込み、現在の九十九島湾  
 が出来た。九十九島湾はい  
 わゆる湖(おぼ)れ谷であり、  
 海に浮かぶ多くの島々は、  
 陸地であった時の小山や尾  
 根の天辺が海水面から顔を  
 出しているののである。

島の多くが楕圓子の方  
 に連なり、でこぼこした形  
 をしているのは、尾根と谷  
 が連なった地形のなごりだ  
 である。

島が山のなごりであれ  
 ば、当然川のなごりもある。  
 九十九島湾の海図を見る  
 と、かつての河川の流れる

分かる。河川の本流は、俵  
 ケ浦半島の船越方面より松  
 浦島の横を通って金重(かな  
 じげ)島に向かっている。南  
 からの支流は俵ヶ浦半島の  
 突端付近から松浦島の背後  
 へ流れ込み、北からの支流  
 は鹿子前、牽牛崎方面から  
 牧ノ島を巻くように流れ  
 て、オジカ瀬付近で本流に  
 合流している。

六千年前には地球温暖化  
 により、水面は現在より約  
 10m高くなった時代がある。  
 長年の波や風による浸食で  
 地形はさらに複雑になっ  
 た。例えば、金重島の西側  
 は断崖であるが東側は砂浜  
 が広がっている。これは波  
 の浸食によって島の西側半  
 分を削り取られたからであ  
 る。

九十九島の風景は今も変  
 化し続けている。



金重島西海岸の絶壁

### 事務局だより

★由紀さん・安田さん、あり  
 がとうございました。

「♪ティアラララ〜」  
 アップテンポの「トルコ行進  
 曲」をお二人のかけあいであ  
 りやかに歌われる姿。30年ほど  
 前、初めてお聴きした時の感  
 動を今も覚えています。声質  
 が近く、息の合った姉妹だか  
 らこそできる技の高さと感じ  
 ました。

実は、この「トルコ行進曲」  
 は、今回アンコールの2曲目、  
 つまり最後の曲として用意さ  
 れていた曲なのですが、声の  
 調子により、曲目から除外さ  
 れました。

★「学生証を別の者に貸すこ  
 とはできますか?」

時々、させば夢大学にこの  
 ような電話がかかってくる。  
 答えは、「YES!」。

受講生の皆様に、年度当初  
 に学生証を郵送していますが、  
 同封の「入学案内[学生心得]」  
 の6番目に記載をしています。  
 何かのご都合で講演会に参  
 加できない場合、家族に限ら  
 ず、近所の方やご友人等に学  
 生証を貸与されて結構です。  
 せっかくなので講演会、無駄の  
 ないよう有意義にご参加くだ  
 さい。

今度は、ぜひお聴かせくだ  
 さい。再度の出会い、再度の  
 歌声をお待ちしております。

### 令和6年度(第33期)講演会予定

- 令和6年
- 4月18日(木) 中村 逸郎氏 (筑波大学名誉教授)  
『ウクライナをめぐる米中ロの思惑』  
18:30~20:00
  - 5月16日(木) 黒川 伊保子氏 (感性リサーチ社長) [交渉中]  
『人生に効く脳科学 ~脳が創りだす男女のミゾ、人生の波~』  
18:30~20:00
  - 6月20日(木) 茂山 千五郎氏 (狂言師)  
『狂言の笑いと実演』  
18:30~20:00
  - 7月18日(木) 安藤 和津氏 (エッセイスト・タレント) [交渉中]  
『明日を素敵に生きるには』  
18:30~20:00
  - 8月22日(木) 和田 秀樹氏 (精神科医)  
『からだの健康 こころの健康』  
18:30~20:00
  - 9月19日(木) 大八木 弘明氏 (駒澤大学陸上競技部総監督)  
『育てて活かして勝つ ~覚悟と挑戦~』  
18:30~20:00
  - 10月17日(木) 若狭 勝氏 (弁護士)  
『これで分かったうそを見抜く力、見破る力』  
18:30~20:00
  - 11月21日(木) 加藤 登紀子氏 (歌手)  
『コンサート』  
18:30~20:00
  - 12月19日(木) 杉本 昌隆氏 (将棋棋士・八段)  
『師匠が語る「弟子・藤井聡太」という才能』  
18:30~20:00
- 令和7年
- 1月16日(木) デヴィ夫人 (国際文化人)  
『人生のモチベーション』  
18:30~20:00